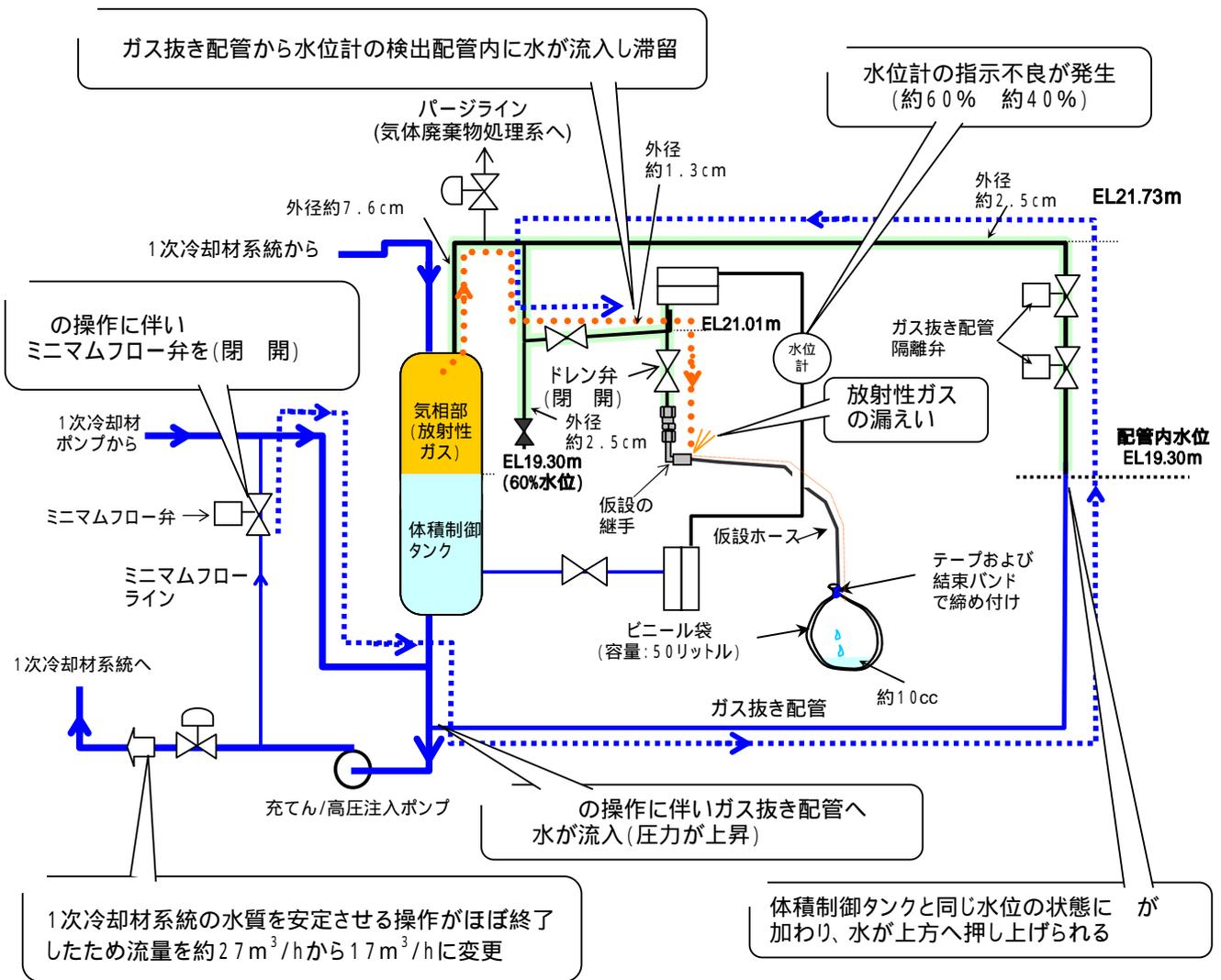




## 水位計の指示不良が発生した原因

【凡例】

→ : 流入した水の流れ   
 → : 放射性ガスの流れ   
  : 水の流入箇所   
 ☒ : 開放   
 ☒ : 閉止



## 対策

- 水位計の検出配管部への水の流入を防止するため、原子炉起動時等に抽出流量を下げる際は、充てん/高圧注入ポンプのガス抜き配管に設置されている隔離弁を閉止する。なお、次回の定期検査時に、ドレン配管と当該水位計の検出配管の接続位置を水が流入しにくい位置に変更する。
- 仮設のホースや継手等を利用して放射性ガスを取り扱う作業の際には、継手部に差し込むホースにマーキングを行い、差し込み不足とならないよう確実に管理するとともに、継手部をピニールテープ等で養生する。